

スターキー

充電式耳かけ型補聴器

取扱説明書



Edge AI ワイヤレス補聴器

Genesis AI ワイヤレス補聴器

- mRIC R (Micro Receiver-In-Canal)
Rechargeable
- RIC RT (Receiver-In-Canal)
Rechargeable with Telecoil

はじめに

この度はスターキー耳かけ型補聴器をお選びいただき、誠にありがとうございます。補聴器をお使いになる前に、取扱説明書を必ずお読みいただき、正しくお使いいただきますようお願いいたします。なお、取扱説明書はお読みいただいた後も大切に保管し、補聴器の使い方がわからなくなった際にお読みください。

フィッティングサービスの重要性

補聴器はマイクから入力された音を増幅させて出力し、聴力を補う医療機器です。補聴器は適切なフィッティング調整によりその効果が発揮されます。しかし、装用者のきこえの状態によっては、その効果が異なる場合があります。補聴器は装用者に合わせて調整されています。装用者以外の方のご使用はご遠慮ください。

目次

1.	安全にお使いいただくために	3
2.	各部の名称	7
3.	補聴器の装用	9
4.	補聴器の電源と充電	10
5.	補聴器の操作	11
6.	電話の使用	15
7.	お手入れをするには	16
8.	おかしいなと思ったら	20
9.	販売店様へ	22
10.	表示項目など	23

警告・注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。ご使用の前によくお読みになり、必ず守ってください。



警告

取り扱いを誤った場合、人が死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容です。



注意

取り扱いを誤った場合、人が損傷を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容です。



警告

- ◆ 補聴器本体や部品、電池を、幼児や精神的に障害のある方、ペットの手の届かないところに保管・管理してください。
- ◆ 補聴器本体、電池またはイヤチップなどを誤って飲みこまないように十分注意してください。もし飲み込むような事故があった場合は直ちに医師にご相談ください。
- ◆ 補聴器本体を、爆発性の環境に持ち込まないでください。
- ◆ この補聴器には無線通信機能が搭載されています。ご使用になる場所で電波を発する電子機器の使用が制限されている場合には指示に従ってください。



- ◆ 他の医療機器あるいは除細動器やペースメーカーなどの埋込型医療機器を着用し、補聴器からの電波干渉等に関する懸念がある場合には、医師または医療機器の製造元にご相談ください。また、念のために、これらの埋込型医療機器を着用されている方は補聴器を埋込部分から15cm以上離して使用してください。



注意

- ◆ 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、車の中など、高温になりやすい環境に補聴器本体及び電池を長時間置かないでください。
- ◆ MRIスキャンは強い磁力を用いる為、故障の原因になります。MRI室には補聴器を持ち込まないでください。また、レントゲン撮影やCTスキャンなどの画像診断機器は補聴器に悪影響を及ぼすため、撮影時には補聴器を外してください。
- ◆ 補聴器を電子レンジで乾かすことは絶対におやめください。
- ◆ IH調理器などの電磁波を発生する機器の近くでは補聴器に雑音や歪が発生することがあります。
- ◆ スキューバダイビング、潜水など、水深1mを超え水圧の高い環境下では、補聴器を取り外してください。また、水流の中でのご使用は紛失につながりますので、お控えください。





注意

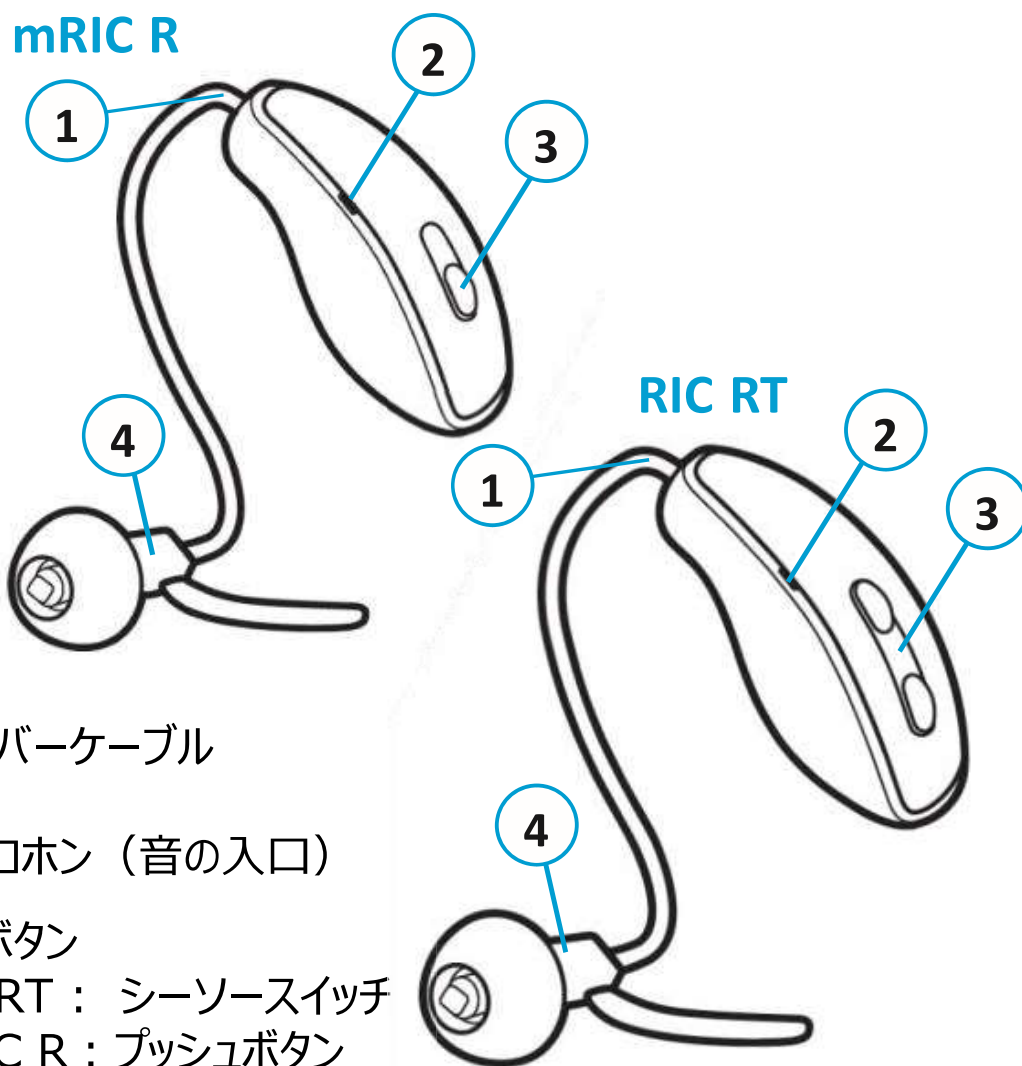
- ◆ 分解、改造などはしないでください。修理の際は、お求めになられた販売店にご相談ください。
- ◆ 補聴器は再資源化対象ですので、ご不要となった場合はゴミとして捨てず、販売店にお持ちください。
- ◆ 補聴器は常に清潔に保つように使用後の清掃、保管前の清掃をしてください。
- ◆ 次の場合、補聴器の使用を開始する前、あるいは使用を中止して、耳鼻咽喉科医師の診察を受けてください。
 - ・ 耳の中に痛みがある場合。
 - ・ 耳を治療中、または耳の治療が必要な場合。
 - ・ 先天的又は外傷による明らかな耳の変形がある場合。
 - ・ 過去90日以内に耳漏を生じた経験がある場合。
 - ・ 過去60日以内に急激、または急速な難聴の進行を生じた経験がある場合。
 - ・ 過去30日以内に耳鳴りが大きくなった場合。
 - ・ 耳垢または異物の集積が明らかな場合。
 - ・ 耳の聞こえが急に悪くなったと思える場合。
 - ・ 耳の皮膚が赤くなったり、痒みや湿疹が生じた場合。
 - ・ 使用すると頭痛や疲れが生じた場合。
 - ・ 補聴器の外観、音質・音量等に異常を感じた場合。
 - ・ めまいが生じた場合。



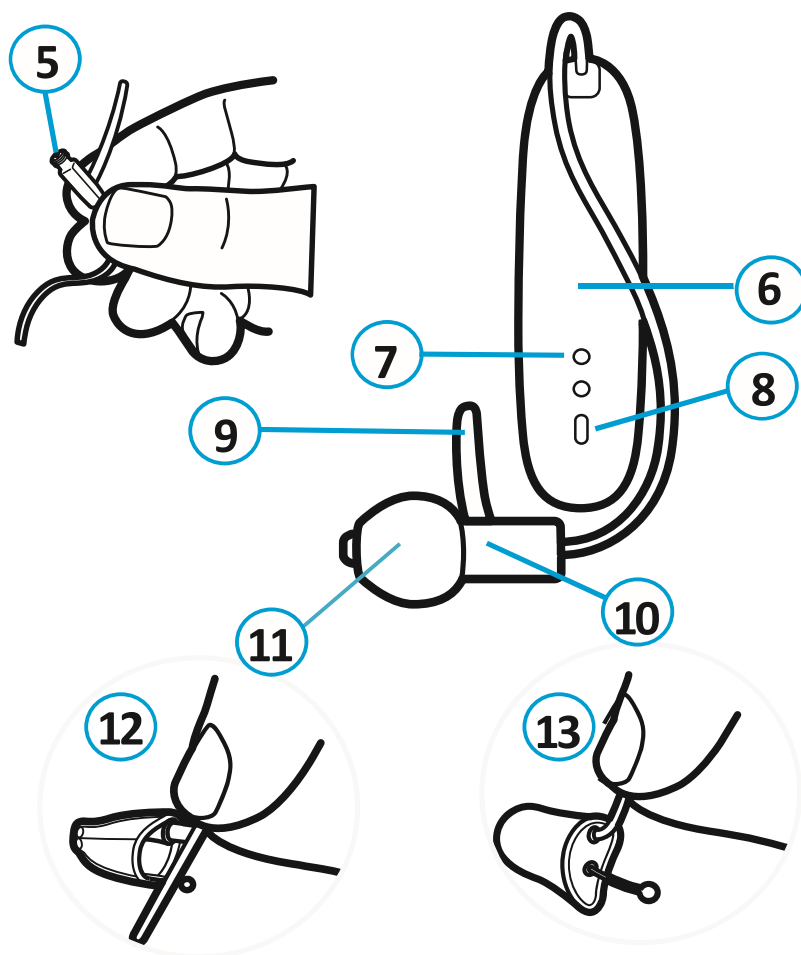
注意

- ◆ 耳の中でホワイトワックスガード等の部品が脱落した場合、販売店又は耳鼻咽喉科の医師にご相談ください。
- ◆ 耳鳴り治療音機能（TRT機能）の使用には医師の処方が必要です。ご使用になる場合、耳鼻咽喉科医師の指示に従ってご使用ください。
- ◆ 補聴器内部を針などのとがったものでつつかないでください。
- ◆ 硬い床の上などに落とすと破損する可能性があります。落とすと壊れやすい場所での補聴器の付け外しをしないでください。
- ◆ CROS補聴システムでご使用になれる場合は、専用の送信機が別途必要になります。
- ◆ 携帯電話をご使用の際、補聴器がブーンという音を発することがあります。これは、携帯電話の電波干渉による雑音の可能性が高く、補聴器の性能を損なうものではありません。お使いの補聴器は、デジタルワイヤレス機器に対する補聴器の規格に準拠して試験されており、IEC 60118-13:2019の基準を満たしています。
- ◆ その他ご不明な点等がございましたら、販売店までご連絡ください。

2. 各部の名称

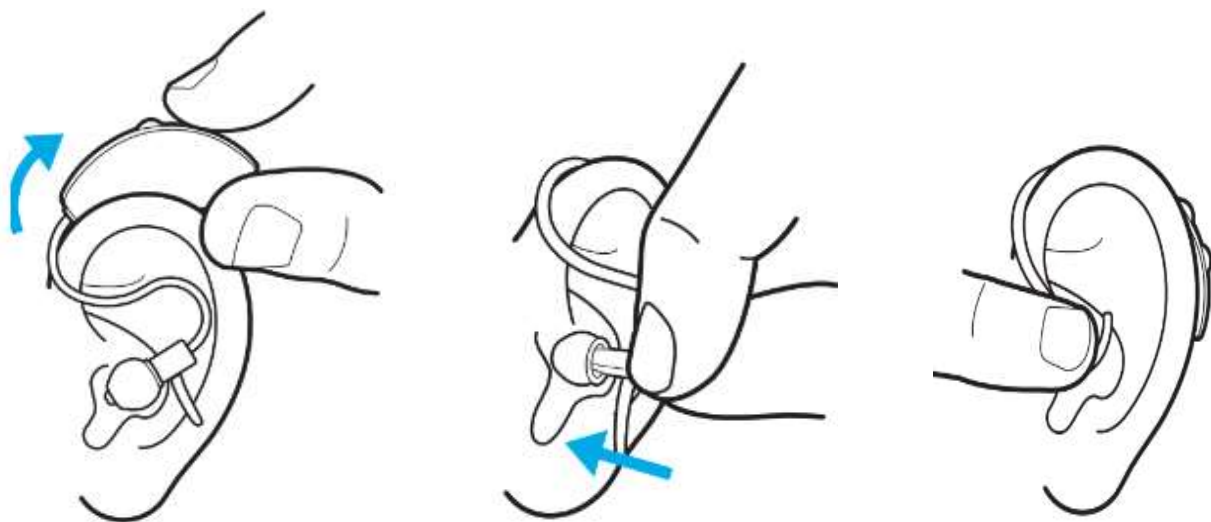


- ① レシーバーケーブル
- ② マイクロホン（音の入口）
- ③ 操作ボタン
 - ・RIC RT：シーソースイッチ
 - ・mRIC R：プッシュボタン
- ④ レシーバー

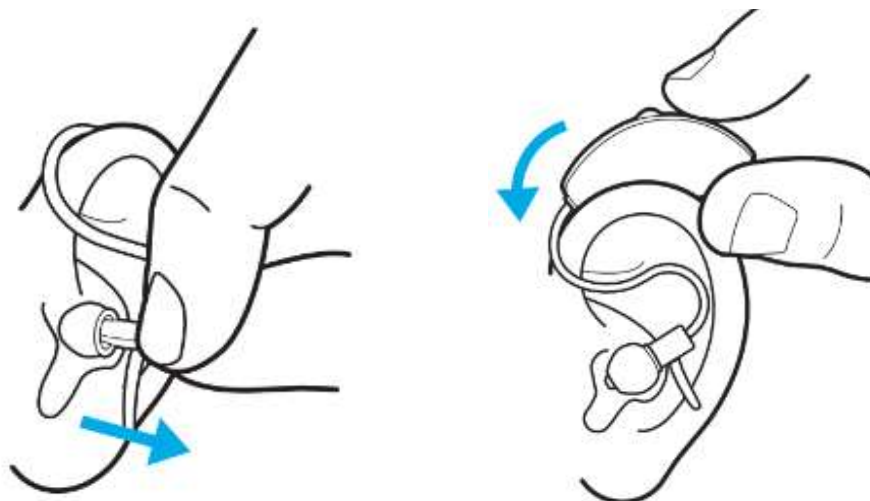


- | | |
|---|---|
| ⑤ 音の出口（ワックスガード） | ⑨ ストッパー（リテンションロック） |
| ⑥ メーカー名、製品名
製造番号の記載位置 | ⑩ レシーバーの左右識別
赤 ：右耳用 青 ：左耳用 |
| ⑦ 充電用接触端子 | ⑪ イヤチップ（イヤピース） |
| ⑧ 左右識別インジケータ
赤 ：右耳用 青 ：左耳用 | ⑫ シリコンモールド（別売オプション） |
| | ⑬ カスタムイヤモールド（別売オプション） |

3. 補聴器の装用



- ① 補聴器本体を耳の上に置きます。 ② イヤチップを耳の穴に入れます。 ③ リテンションを耳のくぼみに固定します。



- ④ イヤチップを耳の穴から外します。 ⑤ 補聴器本体を耳から外します。

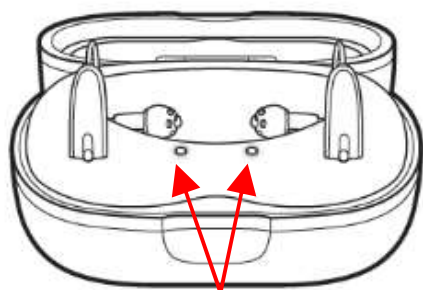
電源入

充電器から外すと電源が入ります。または、手動で電源が切れる設定の場合は、本体操作ボタンを短押しすると電源が入ります。耳に装着する時間を考慮しているため、補聴器から音が聞こえてくるまで少し時間が掛かります。

電源切

充電器に取り付けると電源が切れます。手動で電源が切れる設定の場合は、本体操作ボタンを3秒以上押して電源を切ります。補聴器は、電源が切れると操作ができない状態になります。

充電器に電源コードを接続し、壁コンセントに電源コードのプラグを差し込みます。補聴器を充電ポートに差し込むと、充電が開始されます。補聴器は、約3時間半ほどで完全に充電されます。詳しくは、充電器付属の「StarLinkチャージャーケース取扱説明書」をご覧ください。



表示ランプ

表示ランプ	充電の状態
点滅（ゆっくり）	充電中
点灯	充電完了
点滅（はやい）	充電エラー

⚠ 注意

- ◆ 充電には必ず専用の充電器を使用してください。
- ◆ 同梱のACアダプターは当社製充電器専用です。他の機器に接続して使わないでください。

- 電池寿命が残り30分になると、充電量低下を知らせるお知らせ音（「電池」など）が補聴器から聞こえます。電池が切れる前にもお知らせ音が鳴ります（環境雑音や使用状況によって、お知らせまでの時間は前後する場合があります）。
- 冬場や夏場など、補聴器の周囲温度が10～40℃の範囲を超える場合、正しく機能しない、または充電できない場合があります。

5. 補聴器の操作

補聴器は、次の3つの方法で操作します。

- 短押し：補聴器本体の操作ボタンを指で1秒ほど押して離します。
- 長押し：補聴器本体の操作ボタンを指で3秒以上押して離します。
- タップ操作：補聴器が揺れるように軽くトントンと2回タップします。

mRIC R（プッシュボタン仕様）の場合

プッシュボタンを押す長さによって、音量調節やプログラム変更、ミュート(消音)のオン/オフ、電源のオン/オフを行います。

※どのような設定になっているかは、ご購入いただいた販売店にご確認ください。

プッシュボタン



①音量調節（短押し・長押し）

大きい



標準



小さい

プッシュボタンを押す時間（長押し・短押し）によって音量の上げ下げを行います。

プッシュボタンを短押しすると音が大きくなり、長押しすると音が小さくなります。

※ 電源を入れた時は、標準の状態です。

※ 長押しで音を大きくし、短押しで音を小さくする設定にすることも可能です。

詳しくは、購入された補聴器販売店にご相談ください。

②ミュート（消音）機能

ミュート機能が設定されている補聴器の場合、プッシュボタンを長押し（3秒以上押すこと）によってミュートまたはミュート解除ができます。

③プログラムの切り換え

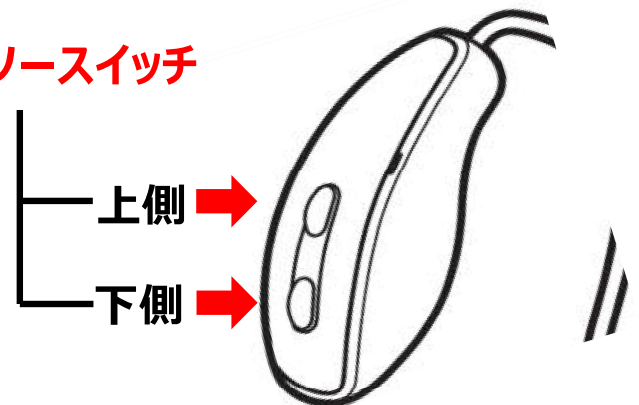
プログラムの切り換えが設定されている補聴器の場合、プッシュボタンを短押し（1秒程度押すこと）または長押しによって設定された各プログラムへ順番に切り換えることができます。

RIC RT（シーソーススイッチ仕様）の場合

シーソーススイッチを押す長さによって、音量調節やプログラム変更、ミュート(消音)のオン/オフ、電源オン/オフを行います。 **シーソーススイッチ**

※どのような設定になっているかは、ご購入いただいた販売店にご確認ください。

※CROS補聴システムでお使いの場合、BiCROS（バイクロス）のみバランス設定が可能になります。



①音量調節（シーソーススイッチ仕様）

シーソーススイッチの上側を押すと音が大きくなり、下側を押すと音が小さくなります。

大きい



小さい

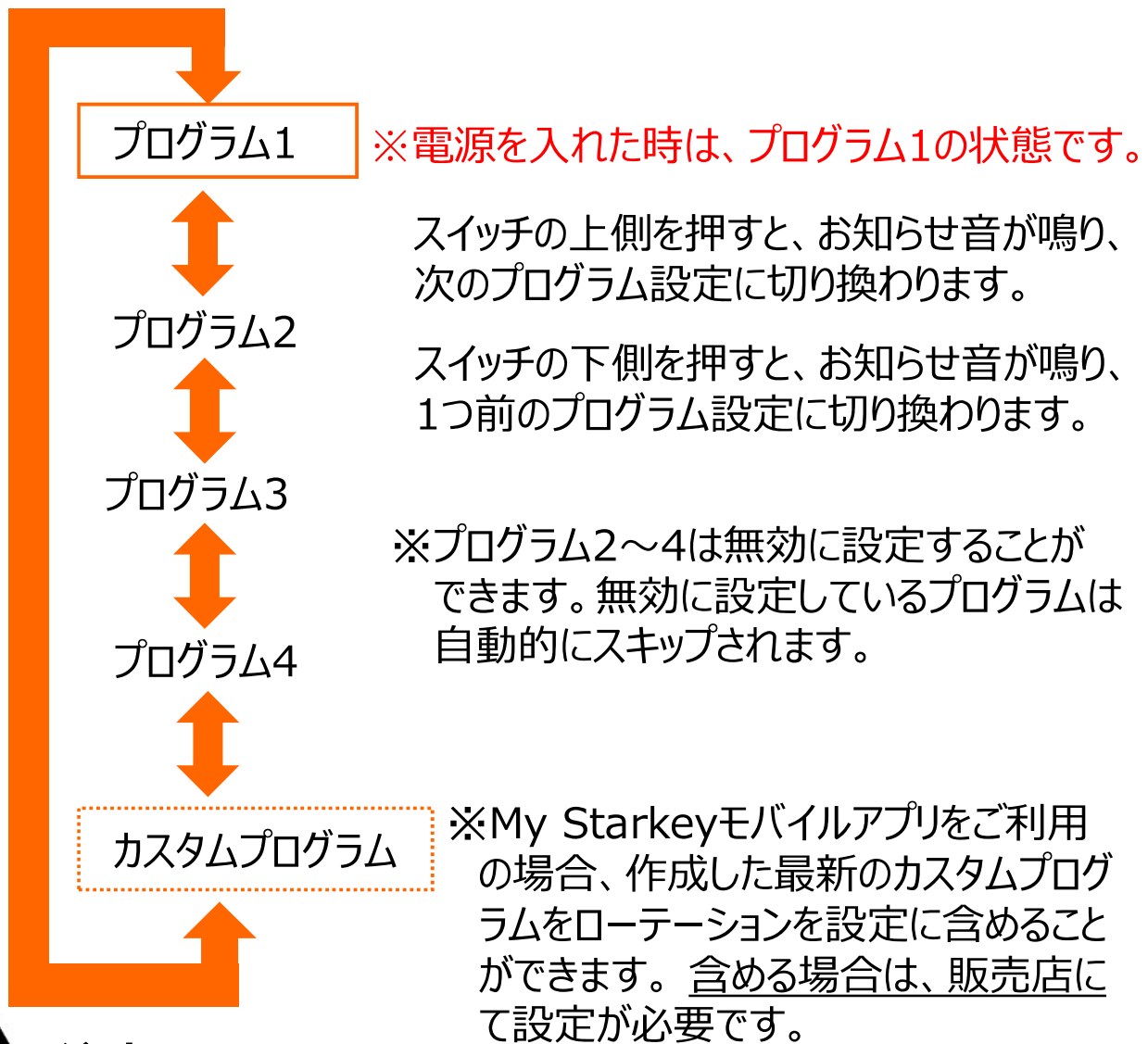
※電源を入れた時は、基準の状態です。

②ミュート（消音）機能

ミュート機能の搭載されている補聴器の場合、シーソーススイッチの上側・下側関係なく、スイッチの押す長さによってミュートまたはミュート解除ができます。

③プログラム切り換え

シーソーススイッチの上側または下側を押してプログラムの設定を切り換えます。



注意

操作ボタン（シーソーススイッチ）を必要以上に強く押すと、破損することがありますので、ご注意ください。

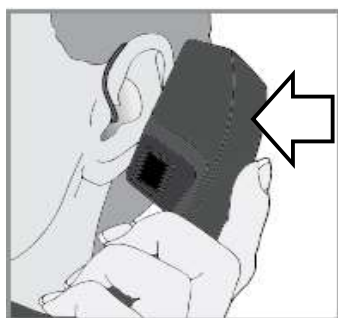
mRIC R / RIC RT 共通の操作設定

その他の操作ボタンの機能として、**電源オフ**、**手動転倒通知**（連絡先へ転倒等を知らせる）、**アクセサリからのストリーミング作動/停止**、**オフラインモード**（ワイヤレス通信機能だけを停止）を**長押し機能**に割り当てて設定することができます。また、**タップ操作**では、操作ボタンの上あたりを、2回タップすることで、**アクセサリからストリーミングを作動/停止**させたり、アプリの**スマートアシスタント**機能の立ち上げができます。一部の補聴器（Genesis AI24クラス）では、オンデマンドAI自動調整機能「**Edge Mode+**」の起動/停止を**タップ操作**または操作ボタンの**短押し**に割り当てることができます。機能の割り当ては、販売店に設定していただく必要がありますので、ご相談ください。

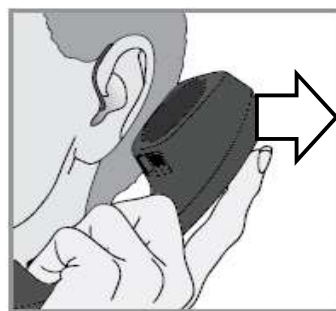
6. 電話の使用

● 固定電話

※コードレス電話などは、機能しない場合があります。



受話器を補聴器に近づけると、電話用のプログラムに自動的に切り換えることができます。



受話器を補聴器から離すと、通常のプログラムに戻ります。

※詳しくは販売店にご相談ください。

● 携帯電話（スマートフォン）

通話を補聴器にストリーミングできます。携帯電話と補聴器の接続（ペアリング）に関しては、別紙の「スマートフォンの簡単セットアップ手順」をご覧ください。

7. お手入れをするには

●補聴器本体のお手入れ

補聴器本体表面、接続部分ともに、汗や水、汚れなどをはじいて付着しにくい撥水加工が施されています。ただし、本体表面に水滴がついたままになると、補聴器内部に水が入り、腐食や故障の原因になる可能性があります。安心してご使用いただくためには日々のお手入れが必要です。

1. 水分や汚れが付着した際は、柔らかい布等で拭き、充電用接点に付着物がないことを確認してください。
2. 充電用接点を清掃するとき、水、液体、または洗剤のご使用はお止めください。
3. 掃除ブラシや綿棒を使い、補聴器本体やイヤチップ、イヤモールド等に付着している耳垢やホコリを取り除いてください。

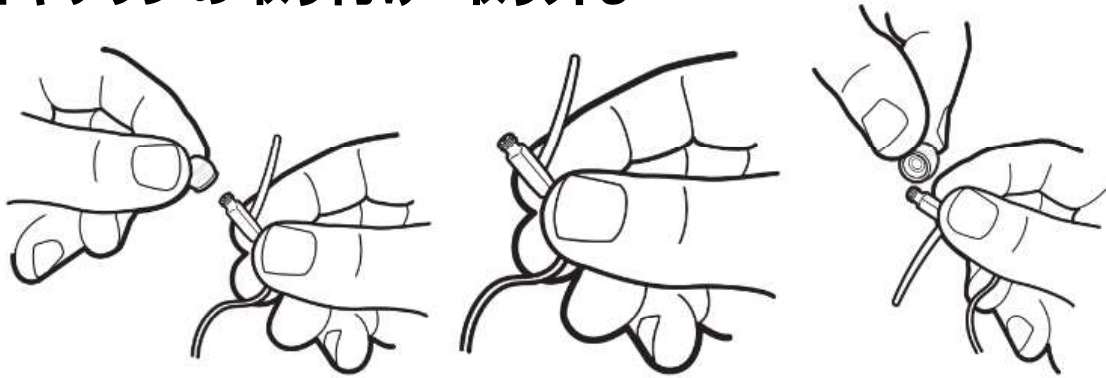


環境条件

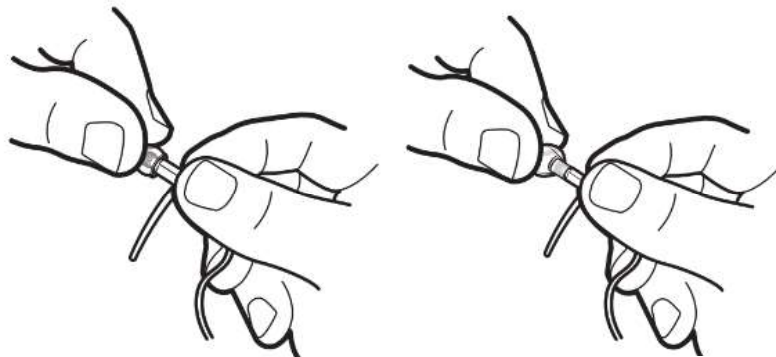
補聴器のご使用、充電、輸送、保管は、下記の条件下で行ってください。

	使用	充電	輸送	保管
温度 (℃)	0～40	10～40	-10～45	
湿度 (%)	10～95 (結露しないこと)			

●イヤチップの取り付け・取り外し



- ① レシーバーからイヤチップを取り外します。 ② レシーバーとケーブルの接続部分を持ちます。 ③ レシーバーの先端から奥に向かって、新しいイヤチップを取り付けます。



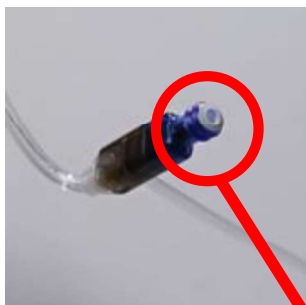
- ④ レシーバーに確実に取り付くように、イヤチップを押し込みます。 ⑤ レシーバー先端の細い部分がカバーされていることを確認します。



注意

- ◆ イヤチップは弊社純正品をご使用ください。純正品以外をご使用になると、脱落する恐れがあります。
- ◆ イヤチップ、イヤモールドには、使用状況によりカビが発生することがあります。こまめにお手入れをお願いします。

●ホワイトワックスガード（耳垢防止）の交換



※ホワイトワックスガード（ワックスガード標準品）
はお客様による交換が可能です。
※ホワイトワックスガードを交換する前に、必ずイヤ
チップを外してください。

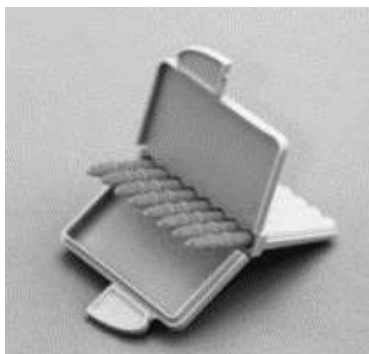
ホワイトワックスガード



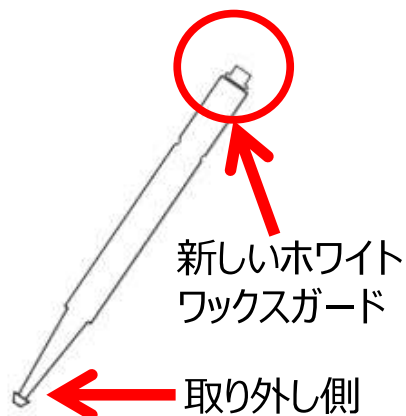
先端が金属のメッシュになっています。音
が聞こえない・音が小さいなどの場合には
耳垢によって目詰まりをしている可能性が
ありますので、修理に出す前にホワイトワッ
クスガードを交換してください。



交換用キットのがま口
部分を開け、棒を1本
取り出します。

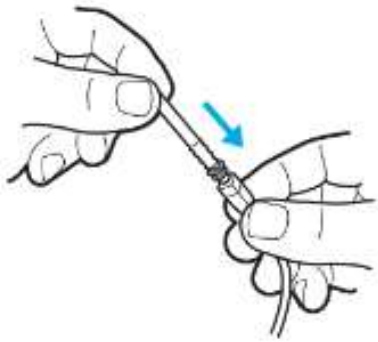


交換用キットには
8本入っています。

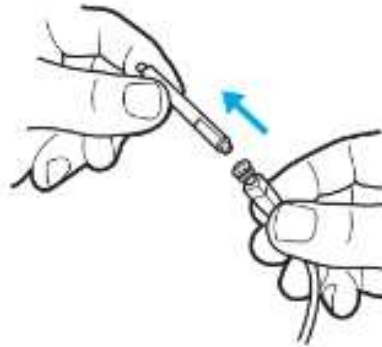


<ワックスガード 取付・取り外し棒>

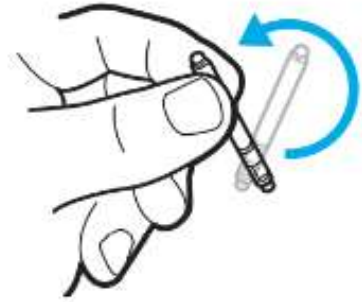
<交換の手順>



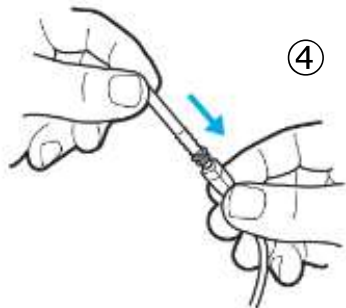
- ① 新しい棒を取り出し、棒の取り外し側を補聴器のレシーバー孔に軽く押しこみます。



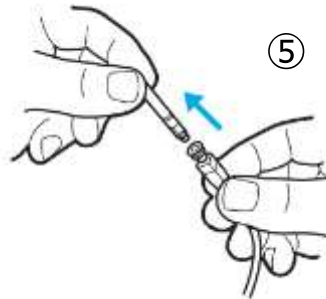
- ② 棒をまっすぐ引き抜きます。



- ③ 棒を180度回転させます。



- ④ 棒の反対側についている新しいワックスガードを、まっすぐ差し込みます。



- ⑤ 棒をまっすぐ引き抜くとレシーバー孔に新しいワックスガードが取り付けられます。

※棒は再利用できませんので、使用後に廃棄してください。

※ホワイトワックスガード、棒及び交換用キットのケースは、プラスチックを主体としています。自治体の分別ルールに従い廃棄してください。

⚠ 注意

- ◆ ホワイトワックスガードは弊社純正品をご使用ください。純正品以外をご使用になると、脱落する恐れがあります。
- ◆ ワックスガードの縁は補聴器の先端に対して必ず平らになるよう装着して下さい。装着状態が不安定な場合は外れる恐れがあります。

8. おかしいと思ったら

補聴器をお使いの際に、音がきこえない、ピーピー音がするなどおかしいと思ったら、修理に出す前に以下の内容をご確認下さい。また、My Starkeyアプリをご利用されている方は、補聴器の「セルフチェック」機能もお試ください。

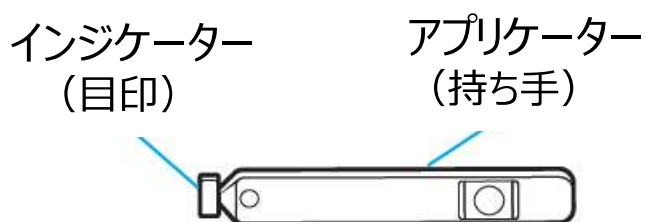
症状	考えられる原因	対処法
音が 聞こえない	バッテリー切れ	補聴器を充電器に差し込み、充電器の表示ランプが点滅から点灯に変わるまで、充電してください。
	イヤチップ、イヤモールド、 レシーバー孔の目詰まり	補聴器ブラシ等で掃除し、必要に応じてワックスガードを交換してください。
	機械的な故障	販売店にご相談ください。
	レシーバーケーブルの 接続不良	補聴器からレシーバーケーブルを外し、もう一度、接続し直してください。
充電器内で 補聴器から ピーピー音が する	充電器へ接続不良、 接触不良	充電ポートから補聴器を取り出し、再度、補聴器を充電ポートに差し込んでください。
	充電ポートの汚れ	充電器から補聴器を取り出し、充電ポートを補聴器ブラシ等で清掃してください。清掃後、補聴器を差し込んでください。

症状	考えられる原因	対処法
音が小さい	イヤチップ、イヤモールド、チューブの詰まり	補聴器を清掃し、必要に応じてワックスガードを交換してください。
	塵や耳あか等の蓄積	補聴器マイクのカバー部分やレシーバー孔を補聴器ブラシで清掃してください。
	補聴器の交換	販売店にご相談ください。
音が途切れる	イヤチップ、イヤモールド、チューブの詰まり	補聴器を清掃し、必要に応じてワックスガードを交換してください。
	再起動が必要	充電器に補聴器を差し込み、充電が開始されるまで待ちます。充電が開始されたら、補聴器を充電ポートから取り外してください。
音の歪み、不明瞭	イヤチップ、イヤモールド、チューブの詰まり	補聴器を清掃し、必要に応じてワックスガードを交換してください。
	再起動が必要	充電器に補聴器を差し込み、充電が開始されるまで待ちます。充電が開始されたら、補聴器を充電ポートから取り外してください。
	補聴器の交換	販売店にご相談ください。

9. 販売店様へ

※ AP仕様や高出力タイプの補聴器を使用して132dB SPLを超える音圧レベルでフィッティングする場合、残存聴力を害する危険性がありますので、ご注意ください。

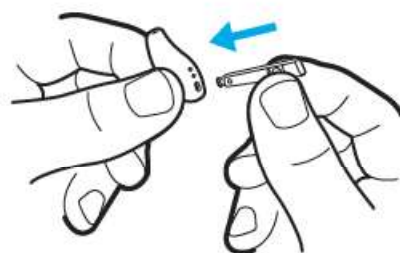
※ 補聴器の出荷時は、左右の目印が付いていません。インジケータを付けることにより左右の識別が簡単に行え、誤使用の防止にもなります。



右耳用：赤色

左耳用：青色

1



2

補聴器本体の楕円形くぼみにインジケータを挿入します。



3

挿入後、ねじり取ります。



4

装着完了です。

10. 表示項目など

医薬品医療機器等法第63条の規定による表示

製造販売業者名：スターキージャパン株式会社
住所：神奈川県横浜市港北区新横浜2-6-23
一般的名称：耳かけ型補聴器
販売名：スターキー耳かけ型 4
区別：管理医療機器
製造番号：製品本体
認証番号：305ADBZX00099000

保証について

修理が必要な際には、お買い求めいただいた販売店にお申し付けください。その際、販売店には出来るだけ詳しい状況をご説明いただけますようお願い致します。また、保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。

お買い上げいただいた補聴器の保証書につきましては、内容をよくお読みいただき、無くさないよう大切に保管いただきますようお願い致します。

電波法適合（技適）表示



本製品に関するお取り扱いについては
販売店へお問い合わせください。



スターキージャパン株式会社

ホームページ

www.starkeyjp.com

サポートページ

<https://www.starkeyjp.com/support/get-help>



〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-6-23

Tel : 045-475-9701 / Fax. 045-475-9706

第2種医療機器製造販売業許可番号 : 14B2X00027

医療機器認証番号 スターキー耳かけ型 4 : 305ADBZX00099000



BKLT00100-03-JJ-JP JPYBK-100

www.starkeyjp.com